



奨励賞

旭川市



2021 田んぼアート(本年度で16年目を迎える)

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体
JAたいせつ田んぼアート実行委員会
【旭川市】

田んぼアートで農業・農村地域の魅力を発信する拠点へ

はじめは？

農業・農の持つ魅力を伝える方法として、その環境を肌で感じてもらうことが大切です。農業・農の持つ魅力を伝える新たな方法を模索する中で、消費者を農村に直接出迎える形で、生産者と消費者との交流の場を設け、協力して作業を行うことができる田んぼアート事業が始まりました。2010年の開始以来、地域の関係団体等の協力を得ながら、今年で16年目となる活動です。

おもな活動

水田をキャンパスに見立て、色の異なる“稲”を使って絵を描く「田んぼアート」を制作しています。

田んぼアートは6色(赤・黄・緑・紫・橙・白)の稲を用いて描いており、田植え作業は例年各関係団体や小学生を含め約300名のご協力のもと行っています。

今は道内・道外はもちろんのこと、海外からも多くの観光客に足を運んでいただき、生産者と消費者を結ぶ交流の拠点と、農業・農村地域の魅力を発信する場として活動しています。



田植え状況

見頃期の7月中旬から8月中旬の1か月間の間、見晴台の1階部分にたいせつ農産物直売所支店も開店し、生産者と消費者の交流の拠点として賑わっています。

ここが自慢

【田んぼアートからの発信、農業の魅力】

今までは農業・農村地域に興味の無かった消費者が「田んぼアート」がきっかけで自ら農村地域に足を運ぶようになり、普段食べているお米や野菜の生産過程や「どのような環境で」「どのような苦労や努力によって」作られているかを知る機会になります。

色鮮やかな「田んぼアート」や田園が広がる雄大なロケーションは見物客を楽しませ、農村地域の魅力を感じることが出来ます。地元小学生による生き物調査では、「田んぼ周辺の生態系は、お米作りが行われることにより成り立っているということ、田んぼはお米を作るだけでなく、生き物達の生息場所にもなっていること」を子供達に伝えることができます。



生き物調査

今後、消費者による体験型の活動を強化し、農業・農村地域の魅力を発信する拠点として更に活性化させていきたい。

連絡先

代表者名 : 橋本雅典さん / 設立 : 2010年 / 会員 : 13名

住所 : 旭川市東鷹栖1条3丁目635番地100

電話番号 : 0166-57-2357 (JAたいせつ 甲斐)

FAX : 0166-57-2360

E-mail : shinkou@jataisetu.or.jp

URL : https://http://www.jataisetu.or.jp/